

公益社団法人 あじむ農業公社

企業プロフィール

所在地 大分県宇佐市

創立 平成9年（1997年）

業種 農業

従業員数 14人 (R5.1.1現在)



公益社団法人 あじむ農業公社



年齢別従業員数

- 正規従業員 2人
- 非正規従業員 12人

60～64歳 5人 (35.7%)

65～69歳 3人 (21.4%)

70歳～ 3人 (21.4%)

定年・継続雇用

定年年齢 60歳

定年後の継続雇用 就業規則により希望者全員を70歳まで再雇用。無期雇用転換後の職員は、定年年齢70歳とし、希望者全員75歳まで再雇用。

現在の最高年齢者 73歳 職務内容：農作業員

👉 事例のポイント

1

制度の整備

- ・ 継続雇用延長と併せて短時間・短日勤務を導入し多様な就業形態により無理なく生涯現役を目指す職場を実現！

2

職域拡大

- ・ 地域特産物の植栽等で職域を拡大
- ・ 大型農業機械の導入で、作業負担軽減だけでなく新規業務の受注も可能に

3

モチベーション

- ・ セルフキャリアドックの活用により職員のモチベーションアップを図る
- ・ 資格取得の希望者には取得費用を会社が負担してキャリア開発

4

作業環境の改善

- ・ 高い位置のぶどうの枝の剪定時に電動剪定機を導入
- ・ 職員のアイデアにより日頃の作業器具の改善を行い、作業負担軽減を図る。

課題

改善内容・効果

1

活用方針

仕事内容・就労条件
制度の整備

- ・農業は65歳を超えても持っている知識や経験を活かせる仕事のため、より長く勤務してもらう工夫が必要であった。

- ・継続雇用年齢の引き上げとともに、短時間・短日勤務を導入し、本人の希望や体力に応じた多様な就業形態を実現。また、労働環境が厳しい時季は半日をデスクワークや出荷作業等の軽作業とするなど無理のない働き方や、年休取得の促進・活用で、生涯現役を目指した魅力ある職場づくりを行った。

2

活用戦略
職域拡大

- ・自然が相手の作業を継続する中で、通年の農作業をしていた。
- ・農作業は身体的負担が大きく、加齢に伴い低下する身体機能の状況によってはつらい作業であった。

- ・地域特産物の植栽等の職域を拡大していき、通年で仕事を提供できるようになった。
- ・大型農業機械を導入し、体力等が低下する高齢期においても農作業を続けられる体制を整えるとともに、新たな農作業の受注も可能となり、職域が拡大した。

3

能力開発
キャリア開発
モチベーション

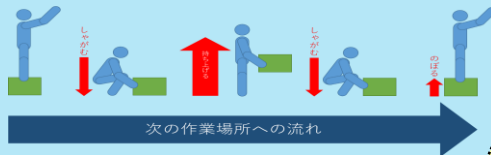
- ・生産性向上のためのスキルアップに寄与するため、自身の能力の理解を深めるツールを必要としていた。

- ・コンサルティング会社へ依頼して、ジョブカードの作成などのセルフキャリアドックを定期的実施している。
- ・希望者には大型特殊免許取得や、民間資格取得に関わる費用を公社で負担し、職域拡大とキャリア支援を平行して行っている。

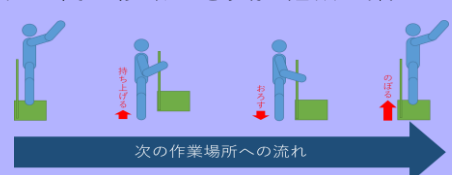
4

機器の導入
職員による工夫
作業環境の改善

- ・高い位置の剪定・収穫は剪定作業では手に負担がかかり腱鞘炎になることもあった。
- ・ぶどうの樹の剪定等の移動の際、踏み台の持ち運びは足腰に負担がかかっていた。



- ・電動剪定機を導入し、腕や手などへの負担の軽減を図った。
- ・踏み台をスムーズに移動できる便利グッズ（ビールケースに手持ち棒をつける）を職員のアイデアにより作成し、簡単に片手で持って次の樹に移動でき負担軽減に繋がった。



「高齢社員の戦力化に向けて、専門家に相談したい・・・！」

65歳超雇用推進プランナー・高齢者雇用アドバイザーにご相談ください！

全国に配置されている社会保険労務士・中小企業診断士等の資格をもった専門家が企業に対し、相談・助言・提案などを行っています。詳しくはコチラ

https://www.jeed.go.jp/elderly/employer/advisory_services.html